

開講科目名 / Course	国際看護学演習
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 1 学期 / First
開講区分 / semester offered	1 学期、2 学期 / First, Second
単位数 / Credits	1.0
学年 / Year	2,3
主担当教員 / Main Instructor	桑野 紀子
担当教員名 / Instructor	宮内 信治、G.T. Shirley、桑野 紀子、篠原 彩
必修・選択 / compulsory subject	選択
講義形態 / Class Type	演習
授業回数	15
科目の目的と概要	本演習は、看護職として多様な価値観を尊重し、自分と異なる文化・社会・言語背景をもつ人々と主体的にコミュニケーションを図りながら関わる能力を身に付けることを目的とする。国際交流活動や調べ学習を通して、諸外国、日本の文化・保健医療制度への理解を深める。また、文化や社会経済的背景、保健医療制度がそこに暮らす人々の健康に及ぼす影響について体験的に学ぶ。さらに、国際交流を通して英語によるコミュニケーションを実践し、自己の課題を振り返りながら、今後の学修や実践につなげる。
到達目標	1. 文化・社会経済的背景や保健医療制度の違いが、人々の健康に与える影響について、調べ学習やディスカッションをもとに、自分の考えを述べるができる。 2. 興味がある国の保健医療制度や文化について国際機関等の情報源を用いて情報収集し、要点を整理できる。 3. 自分と異なる文化・社会・言語背景をもつ人々の価値観を尊重しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。 4. 英語によるコミュニケーションを実践し、自己の課題を整理したうえで、改善に向け取り組む計画を立案できる。
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探究心と創造力
授業計画	01. オリエンテーション（本演習の国際交流活動説明、グループワーク説明：諸外国の保健医療情報の収集方法等） 02. 個人での調べ学習 興味がある国の保健医療制度について国際機関HP等から情報収集 03. グループワーク1 或る国の保健医療制度や文化について国際機関HP等から情報収集、整理 04. グループワーク2 グループワーク1についてディスカッション、発表準備 05. 報告会、ディスカッション 06. 韓国 / インドネシアの看護学生との国際交流準備（ペアワーク） 07. 世界のコミュニケーションツールとしての英語 08. 国際交流に向けた実践英語トレーニング（英語によるプレゼンテーション、ディスカッション等） 09-12. 夏季休暇中の国際交流活動：オンライン国際交流（インドネシアの看護学生）、対面交流（韓国の看護学生）、韓国との学生交流プログラム参加、個人海外研修等 13. 英語コミュニケーションの課題整理と改善計画立案 14. 実践英語トレーニング 15. 報告会（夏季休暇中の国際交流活動と英語コミュニケーションの課題と改善計画について）
その他の授業の工夫	・ 学生が実践を通じて主体的に学べるよう国際交流やグループディスカッションを実施する。 ・ 世界の保健医療に関して情報収集する作業を通じ、看護に役立つ英語での情報収集能力向上を図る。 ・ 英語でのコミュニケーションに関する知見をもとに困りごとを共有、認知し戦略を立てる。
時間外学修	・ 事前学修：演習中の国際交流活動に向けた準備（英語でのプレゼンテーション準備等）（6h）。 ・ 事後学修：配布資料を用いた復習、レポート作成による振り返りを通して復習する（6h）。 ・ 夏季 / 春季休暇中の海外交流活動は演習時間外活動を含む。
評価方法と評価割合	平常点（発言等の積極性、国際交流活動やグループワークおける貢献度）50%、演習の際に提出を求めるミニレポート50%
テキスト	
参考書	新しい英語力の教室（インプレス）

履修する上で必要な要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン国際交流等、国際交流活動に可能な範囲で参加すること（一部演習時間外活動あり） ・ 夏季休暇中の個人海外研修等参加時は保護者と相談のうえ、担当教員等の指導のもと各自責任を持って準備し、健康・安全管理に努めること。事前の届け出等は大学規定により行う。 	
その他	・ 15回のうち4回程度を夏季休暇中の国際交流活動に充てる。	
教員の実務経験	有・無	有
	内容	桑野紀子：看護師、助産師、保健師 篠原彩：看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	看護師、助産師、保健師
実務経験をいかした教育内容	国内外での看護実践や国際交流活動に関する経験を活かし、文化社会的背景が看護に及ぼす影響や、多様な背景をもつ人々との英語での効果的なコミュニケーションについて、学生に指導する。	